

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	学童クラブそよ風2		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 16日		~ 2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		~ 2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 11人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スイーツや惣菜など各分野を得意とする指導員が充実しているので、クッキングは、子どもたちも楽しんで行っています。	子どもたち主体で何を作りたいか、何が必要かなどを計画し、取り組めるようになってきました。また、調理対決も楽しんで行っています。	ゆっくり班のクッキングも行う事で全員が参加できるようにしています。手先を使ったり、調理器具の使い方を学んでいます。
2	若い職員が増えて、男性職員とも一緒に屋内外の活動を取り入れ、いろいろな事を経験できるようになり、支援の幅が広がりました。	いろいろな活動を提供していき、どんなスポーツや遊びに興味があるのかを見極め繰り返し行う事で、ルールや対人関係などを学んでいます。上達する事で自信にもつなげていきます。	負けた時の悔しさなど指導員の支援の下、歩み寄れるように見守っています。まだ、ついていけない子の「やりたい」気持ちを見逃さず、その子のペースで参加できるように配慮していきます。
3	親子食堂を始めて一年が過ぎ、好評です。皆さん気兼ねなく色々話せて楽しそうです。兄弟の来所も利用児童との交流もスムーズになってきました。	同じ事業所内で別の事業所へと広がり、昼食の月と夕食の月があります。	今後も兄弟とのつながりを大切にして、心の支援につなげていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子食堂で兄弟交流は始まっていますが、放課後児童クラブや児童館との交流、地域の子どもと活動する機会がありません。	保護者や職員からも難しいのではないかなど声があります。	買い物体験などを行い、まずは地域店舗の利用を増やしていきます。親子食堂に来所する兄弟はだいたい馴染んできて、一緒に遊ぶようにはなっているため、引き続き間に入って交流支援を行っていきます。
2			
3			